

1歳以上\*<sup>1</sup>の猫の約74%\*<sup>2</sup>の猫に変形性関節症の疑いあり

しかし現状、診断・治療率はわずか2%\*<sup>3</sup>

猫の変形性関節症に待望の新薬「ソレンシア」

2023年2月20日(月)販売開始

ゾエティス・ジャパン株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 加藤 克利）は、猫の変形性関節症（以下 OA）に伴う疼痛の緩和を目的とした動物用医薬品「ソレンシア」を2023年2月20日（月）販売開始いたします。

「ソレンシア」は、2022年7月に国内製造販売承認を取得・発表して以降、獣医師、動物医療関係者、ペットオーナーから期待の声をいただいております。満を持しての販売です。

※使用には獣医師の処方が必要です。



### 猫の変形性関節症治療薬として、世界初\*<sup>4</sup>・唯一の抗 NGF モノクローナル抗体製剤 「ソレンシア」国内販売とその背景

「ソレンシア」は、猫の変形性関節症(OA)の痛みにアプローチするものとして、世界初\*<sup>4</sup>・唯一の抗 NGF モノクローナル抗体製剤です。OA は、関節の正常な軟骨組織が薄くなることで起こる関節の変性状態で、猫（1歳以上\*<sup>1</sup>）の約74%\*<sup>2</sup>が OA の痛みの徴候を示しています。しかし、従来の治療における長期的な薬剤使用は、副作用が課題となる場面も想定されることから、十分な治療がおこなえていませんでした。そのような中、「ソレンシア」は、注射による投与で経口薬と比べて飼主様の負担を減らし、継続的に OA の痛みを緩和できる新たな治療薬として開発されました。すでに販売されている欧州各国では既存の痛み緩和薬よりも高い評価を得ています。

米国においても2022年10月より「ソレンシア」による治療が増加中であり、今後猫の疼痛市場は拡大していくと予想されます。猫の痛みに対する社会的関心の高まりを現す一例として、「ソレンシア」は2022年度コンパニオンアニマルの新製品を表彰する BEST NEW COMPANION ANIMAL PRODUCT AWARD（主催 Harkit Connect）を受賞しました。今後「ソレンシア」は、国内においてもブロックバスター（画期的な薬効を有する新薬）として市場拡大に貢献して参ります。

<本件に関するお問い合わせ先>

ゾエティス・ジャパン PR 事務局(株式会社マテリアル) 担当：菅原・岩本  
TEL：03-5459-5490 / FAX：03-5459-5491 / E-mail：bp1-1g@materialpr.jp

## 猫の変形性関節症治療薬「ソレンシア」について

「ソレンシア」は猫の変形性関節症（OA）治療薬として、世界初<sup>\*4</sup>・唯一の抗 NGF モノクローナル抗体製剤です。NGF（神経成長因子）は慢性疼痛に関与するとされ、本剤は NGF と結合することにより、NGF が関与する疼痛シグナルの伝達を妨げ、OA に伴う疼痛を緩和します。モノクローナル抗体製剤は、従来 OA 疼痛緩和に使用されてきた非ステロイド系抗炎症剤（NSAIDs）と異なる作用機序により、猫の肝臓、腎臓、消化器への負担を最小限に抑える治療薬です。

## 成分及び分量

本剤 1mL (1バイアル) 中

主剤 フルネベトマブ溶液  
(フルネベトマブとして) 7 mg

## 効果又は効能

猫：変形性関節症に伴う疼痛の緩和

## 用法及び用量

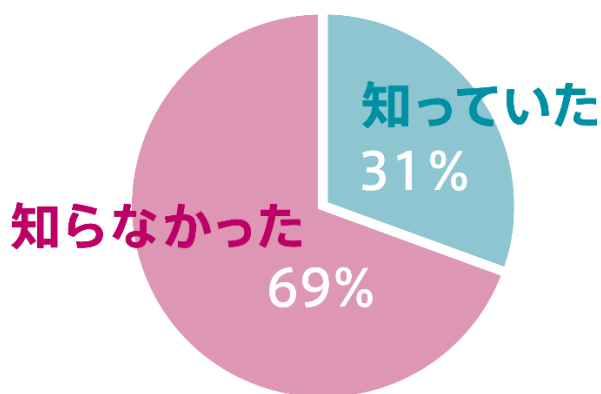
フルネベトマブとして体重1kgあたり1mgを基準値として、1ヵ月に1回、皮下投与する。

## 猫の変形性関節症の現状

現在日本では、約 883 万 7 千頭<sup>\*5</sup>の猫が飼育されており、そのうち 1 歳以上<sup>\*1</sup>で約 74%<sup>\*2</sup>、12 歳超で 90%<sup>\*6</sup>の猫が変形性関節症（OA）の痛みの徴候を示していると報告されています。OA は一般的な疾患でありながらも、治療率は約 2%<sup>\*3</sup>にとどまっていること、さらには飼主様の約 70%が猫の OA という疾患自体を知らなかったことが、弊社の調査で明らかになりました。

弊社は、「猫の変形性関節症（OA）／痛みチェックリスト」の配布や、啓発サイトの公開（2023 年 3 月中旬頃公開予定）等の積極的な啓発活動を通じて、猫の飼主様が OA について理解を深められる機会を創造してまいります。

## 猫の関節炎についての認知度



## 【左記：アンケート結果】

飼主様の約 70%が猫に関節疾患があることを「知らなかった」と回答。飼主様が猫の OA に気づきにくい理由として、猫が高齢になったために活動量が減ったとの考えや、もともとの性格からあまり動かないと考える傾向が要因となっています。

猫の飼主様を対象としたオンライン調査、n=800、2022 年 9 月ゾエティス・ジャパン(株)調べ、マイボイスコム(株)実施

<本件に関するお問い合わせ先>

ゾエティス・ジャパン PR 事務局(株式会社マテリアル) 担当：菅原・岩本  
TEL：03-5459-5490 / FAX：03-5459-5491 / E-mail：bp1-1g@materialpr.jp

## 猫専門医 服部幸 先生より コメント



<プロフィール>

服部幸 (はっとり ゆき)

獣医師。猫専門病院「東京猫医療センター」院長。北里大学卒業後2年半の

動物病院勤務を経て SyuSyu CAT Clinic 院長に。2012年東京猫医療センターを開院。

2014年 JSFM (ねこ医学会) 理事に就任、東京や大阪、名古屋などで様々なセミナー講演をおこなっている。

日々の治療を通して、猫の変形性関節症 (OA) 治療の難しさを痛感することが多くあります。まず、猫の OA は発見が難しい病気です。OA の主訴が必ずしも「跛行」を示すとは限らないからです。例えば、左右の足に同じ程度の OA が発症していると「跛行」ではなく、「元気消失」「運動低下」といった一般的な症状や、「毛繕いや爪研ぎをしなくなった」といった加齢性変化として認識される症状しか示さないことも多いのです。

次に、診断後の治療においても厄介です。なぜなら、OA を罹患しやすい高齢猫は慢性腎臓病 (CKD) に罹患していることが多く、OA 治療薬の一つである非ステロイド系抗炎症剤 (NSAIDs) を使用しにくいからです。さらに経口剤の投与や関節サプリメントの給与を毎日行うことは、猫や猫のご家族にとっても負担となります。

そのような中、CKD 症例に使いやすく、月1回の皮下注射で OA の疼痛管理ができる抗 NGF 抗体薬 (ソレンシア) は、OA 治療に革命を起こしています。近い未来、この薬が OA で苦しむ猫にとっての救世主になることを期待しています。

## ゾエティス・ジャパン 代表取締役社長 加藤克利コメント

ゾエティス・ジャパンでは、猫の変形性関節症 (OA) に伴う痛みの治療薬である「ソレンシア」をいよいよ 2023 年 2 月 20 日(月)から販売開始いたします。「ソレンシア」は欧州各国では 2021 年から販売されており、その画期性が高く評価され、2022 年の BEST NEW COMPANION ANIMAL PRODUCT AWARD (伴侶動物製品最高賞. IHS Markit Connect) を受賞いたしました。

国内製造販売承認を取得した 2022 年 7 月以降、獣医師を中心に多くの期待の声がよせられています。いよいよ日本において販売開始できることを大変嬉しく思います。日本でも多くの猫が OA で苦しんでいるものの、その治療率は約 2%\*3 と大変低く、また飼主様が気づくことが難しいことから診断に至らず、猫が痛みを抱えたまま放置されているケースが多々あるというのが現状です。

ゾエティス・ジャパンは猫の OA 治療薬を提供するだけでなく、獣医師の診断に役立つソリューションを提供してまいります。また、飼主様に対し、猫の日常動作の変化から痛み気づくことができるよう、有用なツールを開発し、OA 疾患啓発活動に取り組んでまいります。

2023 年内には犬の OA に伴う痛みの革新的治療薬である「リブレラ」の国内販売も予定しております。動物医薬品業界のリーダーとしてさらに社会に貢献できるよう、引き続き全社一丸となって取り組んでまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

ゾエティス・ジャパン PR 事務局(株式会社マテリアル) 担当: 菅原・岩本

TEL: 03-5459-5490 / FAX: 03-5459-5491 / E-mail: bp1-1g@materialpr.jp



## 2022 年度 BEST NEW COMPANION ANIMAL PRODUCT AWARD 受賞について

Harkit Connect が毎年開催している Animal Health Awards において、「ソレンシア」は、世界初<sup>\*4</sup>、唯一のネコ化抗 NGF モノクローナル抗体であり、他の変形性関節症（OA）鎮痛剤と比較しても製品満足度トップであると高く評価され、コンパニオンアニマルの革新的な新製品を表彰する『2022 年度 BEST NEW COMPANION ANIMAL PRODUCT AWARD（伴侶動物製品最高賞. IHS Markit Connect）』を受賞しました。この賞は、現在、特定の市場で承認されている製品または販売開始後 1 年を経過した製品が対象で、ノミネート数の多さから最も注目を集めています。

2021 年には、弊社が販売する犬用の OA に伴う疼痛を緩和する治療薬である犬の OA 疼痛治療薬「リブレラ」が受賞し、2 年連続でゾエティスが開発した抗 NGF モノクローナル抗体製剤が受賞に輝いたこととなります。これはコンパニオンアニマルに対する医療に弊社の革新的な製剤が大きな影響を与えていることの現れです。

モノクローナル抗体製剤は、本邦の動物用医薬品（またはコンパニオンアニマル用薬）において弊社が 2019 年に国内で販売開始した犬アトピー性皮膚炎治療薬「サイトポイント（イヌ化抗イヌ IL-31 モノクローナル抗体製剤）」が皮切りとなりました。2018 年に本庶佑（ほんじょ たすく）博士がノーベル医学・生理学賞受賞のきっかけとなったがん免疫療法薬「オプジーボ」もモノクローナル抗体製剤であることから、動物薬におけるモノクローナル抗体製剤の登場は大きな驚きと喜びをもって多くの獣医師や飼主様に受け入れられました。現在も「サイトポイント」は犬アトピー性皮膚炎の掻痒に対し、なくてはならない治療選択肢の一つとして需要は高まるばかりです。

痒みや痛みを引き起こす特定の分子を標的とするモノクローナル抗体製剤は、副作用リスクが少なく、より安全な長期管理を可能とする製剤です。弊社は、この革新的なテクノロジーを活用した薬を通じ、多くの猫と犬の幸福に貢献してまいります。

### 製品情報

- ・製品名：ソレンシア
- ・製品特徴：猫の変形性関節症に伴う疼痛の緩和。1 ヶ月に 1 回皮下投与。
- ・提供ルート（販路）：動物病院への販売

### 会社概要



ゾエティスは、動物用医薬品、ワクチン及び診断検査を対象とした研究、開発、製造 及び販売を中心に事業を行い、遺伝子検査やバイオデバイス及びさまざまなサービスを提供する、世界で最大のアニマルヘルスカンパニーです。

※ゾエティス・ジャパンのニュースリリースは、弊社関連の情報をステークホルダーの皆様にお伝えするために実施しています。医療用医薬品や開発品の情報を含む場合がありますが、報道関係者や株主・投資家の皆さまへの情報提供を目的としたものであり、これらはプロモーションや広告、医学的なアドバイス等を目的とするものではありません。弊社の製品および開発品を推奨するものではなく、医薬品の宣伝や広告を目的とするものではありません。

注)

\*1 n=101,年齢の中央値；9.78±5.77 歳

\*2 Taro Kimura, et al. Retrospective Radiographic Study of Degenerative Joint Disease in Cats: Prevalence Based on Orthogonal Radiographs. Front Vet Sci. 2020;7:138

\*3 動物病院に勤務する獣医師を対象としたオンライン調査、n=200 名、2021 年 7 月、ゾエティス・ジャパン(調べ、(株)Zpeer 実施

\*4 2023 年 1 月現在。猫用変形性関節症の鎮痛剤として

\*5 一般社団法人ペットフード協会 令和 4 年全国犬猫飼育実態調査

\*6 Hardie EM et al. Radiographic evidence of degenerative joint disease in geriatric cats: 100 cases (1994-1997) . J Am Vet Med Assoc 2002;220(5):628-632.

<本件に関するお問い合わせ先>

ゾエティス・ジャパン PR 事務局(株式会社マテリアル) 担当：菅原・岩本  
TEL：03-5459-5490 / FAX：03-5459-5491 / E-mail：bp1-1g@materialpr.jp